

1 小単元名 国土の気候の特色と人々の暮らし

2 小単元の目標

- ・気候条件から見て特色ある地域の人々の暮らしに関心を持ち、暖かい土地の人々の暮らしを意欲的に調べ、気候条件と人々の暮らしや産業とのかかわりを具体的に考えようとする。  
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- ・我が国の国土の気候の概要や、気候条件から見て特色ある地域の人々の暮らしについて、学習問題や予想を考え表現するとともに、気候条件と人々の暮らしや産業とのかかわりについて考え、人々の暮らしや産業には気候条件に適応した様々な工夫があることを表現することができる。  
(社会的な思考・判断・表現)
- ・我が国の国土の気候の概要や暖かい土地の人々の暮らしについて、地図やその他の資料を用いて必要な情報を集めて読み取り、白地図や作品にまとめることができる。  
(観察・資料活用の技能)
- ・我が国の国土の南と北、太平洋側と日本海側などでは気候の様子が違うこと、我が国の気候は四季の変化に富み、季節風や台風、梅雨などの影響を受けたり、沖縄県の人々は気候条件に適応するため、台風の被害や暑さを防いだり、暖かい気候を生かしたくらしや産業の工夫をしたりしていることを理解することができる。  
(社会的事象についての知識・理解)

3 小単元について

我が国の気候は、南と北、太平洋側と日本海側とで大きく違い、人々はその地域の自然環境に適応しながら工夫して生活している。ここでは、気候条件から見て特色ある地域として、沖縄県を取り上げたい。沖縄県のくらしや産業の特色は福井県と大きく違い、児童が学習する中で驚きや疑問をもって取り組むことができると考えた。沖縄県は、年間を通じて温暖な気候を生かし特色ある農産物を作っている。近年では、航空機を活用して本土に作物を輸送するなど工夫した取り組みも行っている。また、独特の歴史をもつ美しいリゾート地という面の他にも環境保護問題や米軍基地問題などの問題を抱えている地域でもある。

沖縄を例に、人々が国土の気候条件に適応しながら生産性と自然との共生を考えながら生活や産業を営んでいる様子を学習することは、これからの日本に生きる子どもたちにとって、大切な学習であると考えられる。

4 児童について

男子19名、女子16名、合計35名の学級である。明るく元気である反面、じっくりと考えることが苦手で、少しずつ落ち着いた学習態度を育てているところである。

社会的事象に対する興味が特別に高い児童は少ないが、4月から世界地図の不思議な現象や沖ノ島や北方領土をめぐる不思議な取組を学習してきたことで、少しずつ関心が高まる雰囲気を感じられるようになってきた。

社会事象を比較したり関連させたりしながら自分の考えをノートなどに表現することが上手な児童は多い。しかし、それを級友らと交流する場面になると、うまくできない児童が多い。

資料などを読み取る際には、自力で読み取れる児童が少なく、まだ支援が必要である。

日本の気候の特色や沖縄についての知識が少ない児童が多い上、旅行の経験と気候などを結びつけて考えられている児童はほとんどいない。

5 指導について

社会事象への関心が低い児童に、各時間の導入で興味が高まる資料を提示しながら学習を進めたい。また、二者択一の問題を取り入れた話し合いの場面を数回設けることで、児童の思考力を生かすとともに、表現力や社会認識を高めたい。ただし、資料に関しては丁寧に内容を読み取りながら進めたい。

そこで、まずは、児童に身近な積雪地帯に目を向けさせる。国土の半分が積雪地帯ではないことを理解させながら、日本全体の気候の特色に関心を高めて学習を進める。次に、沖縄が2月に桜が咲く不思議さから、沖縄の気候をとらえさせる。その上で、福井が沖縄のように台風が数多く来たり暑い季節が長くなったら、どのような家にするか予想させ、沖縄の気候条件と伝統的な家造りの関係をとらえさせる。また、現在の家の様子から水タンクの必要性について選択型の問題を設け、話し合いの中で沖縄の気候と暮らしの関係について認識を深めさせる。

気候と産業に関する学習では、スイカの出荷時期の不思議さに疑問をもたせ、促成栽培・抑制栽培に関する学習を進める。しかし、沖縄の主要な農業生産物はサトウキビであることから、サトウキビ作りに取り組む理由を調べさせ、沖縄が昔から気候に合わせた農業に取り組んできたことに気付かせる。

次に、自然や気候を生かした観光産業の学習では、自然との共生にも目を向けさせる。まず、環境を保護する取組を紹介し、沖縄の観光客数の増加と環境破壊との関連をとらえさせる。そして、沖縄の観光客は増えた方がよいか減った方がよいかという選択型の問題で話し合わせる。その中で、沖縄が自然や気候を生かし観光産業を発展させてきたことや自然との共生問題にも取り組んでいることをとらえさせる。

最後に、沖縄を紹介するキャッチフレーズ作りに取り組ませ、学習をまとめる。

- 6 指導計画（7時間配当）
- 雪が降らないところはどんなところだろう。〈日本の気候の特色〉 (1時間)
  - 暑く台風が多いところではどんな家を造るのだろう。〈沖縄の気候と伝統的な家〉 (1時間)
  - 降水量が多いのに水タンクは必要なのだろうか。〈水が不足しがちな島生活に備えた家〉 (1時間)
  - なぜスイカを冬に出荷するのだろうか。〈地理的条件・気象条件と促成栽培・抑制栽培〉 (1時間)
  - なぜスイカや菊が生産量第1位ではないのだろうか。〈沖縄の気候と伝統的な農業〉 (1時間)
  - 沖縄の観光客は増えた方がよいか、減った方がよいか。〈沖縄の気候を生かした産業〉 (1時間)
- 沖縄のキャッチフレーズを作ろう。 (1時間)

- 7 本時の目標
- ・沖縄の人々は、美しい自然や暖かい気候を生かし観光業に盛んに取り組むとともに、自然との共生活動にも取り組んでいることを、資料を効果的に活用しながら調べ、観光業の今後の推移について自分の考えを文章にまとめることができる。

- 8 準備物
- 提示物（写真資料，文章資料） 児童用資料（統計資料，文章資料）

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援（・）と 評 価（☆）
<p>○スロープ付き側溝の写真を見て、スロープが付いている目的を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スロープに落ちた動物が上るため</li> </ul> <p>○飛び出し注意の標識を見て、何の動物の飛び出しを注意するものか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野生動物（ヤンバルクイナ）</li> </ul> <p>○なぜこのようなものを作ったのか、沖縄の観光客数の移り変わりの統計資料を読み取りながら考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>沖縄の観光客は、増えた方がよいだろうか、減った方がよいだろうか。</p> </div> <p>○考えとその理由をノートに書き、話し合う。</p> <p>〈減った方がよい派〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客が増えると、環境が破壊されていくだろうから減った方がよい。</li> <li>・沖縄には貴重な野生動物がいるから、破壊されては困る。</li> <li>・環境が破壊されると、観光客は来なくなるのではないか。</li> </ul> <p>〈増えた方がよい派〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「現在の沖縄のくらしを支えているのは、観光産業だ」と書いてあるから、観光客が来ないと生活が苦しくなるのではないか。</li> <li>・「観光客が沖縄で過ごすために必要な仕事」がたくさんあると書いてあるので、多くの沖縄の人たちが観光客のおかげで生活できているのだろう。</li> </ul> <p>○「沖縄の人が大切にしていること」を読み、感想を発表する。</p> <p>○なぜ沖縄の人は、環境を守る仕事をしながらも観光業に力を入れるのかを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境は大切だけど、観光客が来ないと生活ができないから。</li> <li>・沖縄の自然や気候を生かせる仕事だから。</li> </ul> <p>○最終的な考えと理由を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活のことを考えれば、観光客は増えた方がよいけれど、環境を守る活動も続けられないといけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクターで資料を提示しながら、興味をわかせるような問いかけをする。</li> <li>(資料) 沖縄の稀少動物</li> <li>・沖縄の稀少動物について説明する。</li> <li>・統計資料の読み取りを丁寧に行わせる。</li> <li>・取り組みにくそうにしている児童には、観光客数が増えるとういうことが起こるかを予想させながら取り組ませる。</li> <li>・児童の発言に合わせ、児童用資料の関連資料に目を向けさせる。</li> <li>(資料) 沖縄の観光と働く人の関係</li> <li>(資料) 沖縄の産業の割合</li> <li>・増えた方がよい派の意見のもととなる資料は、語句が難しいため児童が気が付かなかった場合、目を向けさせる働きかけをする。</li> <li>(資料) HPより引用したフィールドワーク結果</li> <li>☆資料を効果的に活用しながら、沖縄の観光業の現状を調べることができたか。(発言・ノート…技能)</li> <li>☆沖縄の観光業の今後の推移について自分の考えを文章にまとめることができたか。(ノート…思・判・表)</li> </ul>

- 10 授業の観点
- ・二者択一の問題を取り入れ話し合いの場面を設けたことは、児童の資料活用への意欲を向上させ、社会認識を高める上で効果的であったか。